

暮らしの中の移動費用 賢く節約しませんか？

生活費を見直すとき、外食費や趣味にかけるお金はコントロールしやすいのですが、水道・光熱費や通信費も点検すると意外に節約できるもの。このコーナーでは、それぞれの料金の仕組みや、ひながら、より賢く暮らすヒントをお伝えします。第4回は電車やバス、自動車そして飛行機など、移動費用にスポットを当てます。

1 電車・バスなど公共 交通機関の賢い利用法

鉄道やバスの利用は、近年ICカードの普及により大変便利になりました。しかし、例えば定期券を買うまでではないけれど、頻繁に利用する路線などは、回数券がオススメです。回数券は基本的に、10枚分の値段で11枚綴りとなっています。決められた期限までに11回以上利用できるような頻度であればかなりお得といえます。

また首都圏の私鉄の一部では、通勤時間帯を避けたオフピークの利用に限定した12枚綴りの時差回数券、土日のみの利用が可能な14枚綴りの回数券など、各鉄道会社がユニークな割引システムを用意しているので一度調べてみてください。

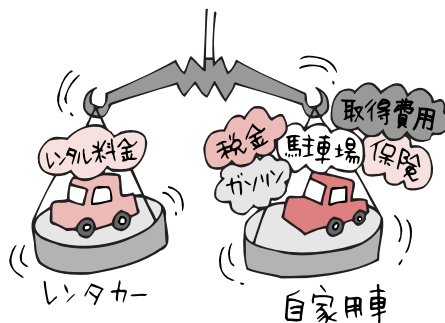
新幹線などでの遠方への移動では、旅行代理店の出張パックや国内旅行のツアー商品の中に、日帰りで利用できるものがあります。早めの申込みが必要、切符の変更ができない

2 利用頻度と目的でレンタカーや タクシー、ハイヤーの活用も

などの制限がありますが、希望の新幹線を選ぶこともできますので、事前に調べてみることをオススメします。また、金券ショップを利用することも考えられます。金券ショップでは、新幹線などの回数券をバラ売りしているため、お求めやすい価格で販売されています。

近年、東京や大阪など公共の交通網が発達している大都市では、マイカーを持たず、自動車が必要な場合にはレンタカーを活用する人も増えてきました。

レンタカーの場合、1300ccクラスのコンパクトカーならば、レンタル、保険、ガソリン代を含めて、約7000円/日程度で借りることができます。たとえば週に1回必ず利用したとしても、年間36万円程度なので、自動車を保有しているよりコストを抑えられます。それよりさらに利用頻度が低い、近場しか使わ



ないというときは、タクシーでも自家用車を持つより安価で便利な場合があります。

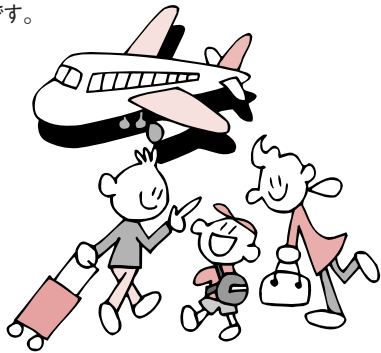
また、ハイヤーは贅沢なイメージがありますが、例えばお年寄りのいらっしやるご家族数人で旅行する場合など、一日貸切や長時間割引があり、タクシーより安くなる場合もあります。名所旧跡を熟知しているハイヤーで観光地を回るほうが、レンタカーで慣れない土地をまわるより、安全で効率的かもしれません。また最寄り駅や宿までの送り迎えもしてもらえ、負担の少ない充実した旅になるでしょう。

飛行機に安く乗る！

航空券を割安で入手するには、まずなるべく早く予約を取ること。45日前、28日前、3日前などと、搭乗日までの期間によって、割引率のおトクな特別割引料金が設定されています。季節や便によって、割引率も座席数も異なり、設定数に限りがありますので、予定が決まり次第押さえたいもの。ただし、変更ができないなどのデメリットもありますので十分注意してください。

また、満12歳から22歳未満の人なら当日空席があれば利用できるスカイメイト割引、満65歳以上の人なら、通常のシルバー割引のほかに、当日空席があればさらにオトクな料金で利用できる割引、1万マイルたったマイルージクラブ会員と一緒に旅行することでグループ割引があるものなど、多彩な割引があります。キャンペーンが行われている場合もありますので、まずは航空会社のホームページなどで情報を集めましょう。

宿泊を伴う旅行の場合、ホテル宿泊費と航空券がセットになった「ダイナミックパッケージ」(搭乗日前日の3日前までの申込みが必要)や、旅行代理店で用意している各種ツアーもオススメです。



3 **自家用車のコスト軽減**

自家用車をお持ちの方はまずランニングコストを低減させることが第一です。適正なタイヤ空気圧を保ち、急発進や急加速を避けてエコドライブをすると燃費が稼げます。

給油は、フルサービスよりもセルフサービスのほうが安価な場合がほとんどですが、その中でも特定のスタンドでしか使えないガソリンカードなどの特約カードはさらに安くなります。

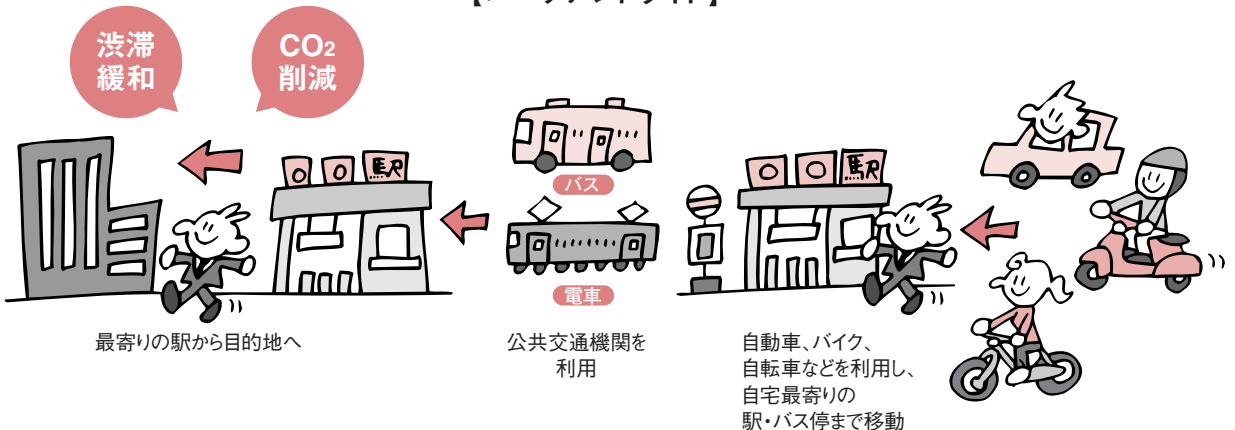
車検にかかる費用は、販売店などに頼むより、自分で車検を通すことで安くあげることが可能です。しかし、慣れない専門用語で大きく時間を取られることも考えられますので、労力とかかる時間を十分検討したほうがよ

いでしょう。

現在注目されている「パークアンドライド」という言葉をご存知でしょうか。自宅近くに公共交通機関がない場合、鉄道駅やバス停などに設けられている駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法です。街の中心部への車の過度の流入を防ぎ、交通環境の悪化を予防するほか、過密、渋滞による大気汚染軽減の視点から注目を集めています。自治体によっては、駅の近くに駐車場を設置し、利用者には無料での数日間の駐車を認めるサービス例が増えています。

街の中心部で高い駐車料がかかるよりおトクで効率的なことも多いので検討してみてください。

【パークアンドライド】



ご注意:ご紹介した料金や各種サービスなどはそれぞれの企業や団体により異なります。実際にご利用になる場合は事前十分にご確認ください。